

新年度のキャッチフレーズは『勇氣・前進』

以上の方針を踏まえて、新年度を合併10年という節目に向けた飛躍の年と位置付け、市政推進に当たりましては、「勇氣・前進」をキャッチフレーズに掲げ、積極果敢な市政運営に努めてまいります。

とりわけ、女性の社会進出と高齢者の能力活用等に資する新たな子育て支援、企業労働者の健康管理対策、海外における地場産品の市場開拓やインバウンド観光の推進などを重視し、今後施策として具現化できるよう、鋭意検討してまいります。

そして引き続き、「都市の自立と活力の喚起」「都市の個性の創出と創造力の発揮」「都市間の交流と連携の強化」を政策の基本理念に据えまして、地域経済の持続的発展と、市民の安全・安心の確保を旨に、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け邁進する決意であります。

新年度施策の主な内容

健康で幸せな暮らしを
実感できるまちづくり

◆高齢者福祉の充実

平成23年度に策定した高齢者福祉計

画及び第5期介護保険事業計画に基づき、高齢者の生きがいづくり支援、介護予防・介護サービスを積極的に推進します。

◆障害者福祉の充実

心身障害者扶養共済制度において県の補助が引き下げられる中、市の補助率を従前どおり据え置き障害者の負担軽減を図るとともに、福祉基金を活用したきめ細かな福祉サービスを推進します。

◆地域福祉の充実

民生児童委員や社会福祉協議会など各種団体等との連携を深めながら、地域の支えあい助けあいを支援します。

◆市民の健康づくり

運動・食育・保健事業を3本柱として、さらなる市民の健康づくりを進めます。

◆地域医療体制の充実

引き続き市立周桑病院の健全な管理運営を図るとともに、医師不足問題の解消に向け、国への働きかけを一層強めます。

また、市民の生命を守る第1次救急医療体制及び救急救助体制の充実強化として、本年7月の西条市休日夜間急患センター開設、10月の東消防署橘出張所開設をめざし、整備を進めます。

◆子育て環境の充実

新年度の最重点施策のひとつとして、女性の社会進出をサポートする新たな子育て支援策を、西条市独自の政策として構築します。

時代の変化に対応して、世代ごとに

その能力を最大限に発揮できるようにするため、団塊の世代の人材活用を図りながら若い母親を支援し、女性の労働力を確保するとともに、安心して子どもを産み育てられる「しくみ」を検討します。

また、子育て世代の経済的な負担軽減を図るため、市独自の上乗せ助成として実施している就学前児童に対する医療費の無料化や、放課後児童クラブ利用料の無料化などに、引き続き取り組みます。

豊かな自然環境を 実感できるまちづくり

◆環境資源を活かした地域づくり

地球規模で水問題が深刻化し、世界各地で水資源の獲得競争が繰り広げられている現状を考えると、生命の源である水資源がいかに貴重で大切なものかは、言うまでもありません。

当市の貴重な地域資源のひとつである「水」を市民共有の財産として活かし、水の都西条の持続可能な発展を実現します。

◆新エネルギーの利用促進

今年の夏に向けて、電力需給を巡る情勢が懸念される中、新エネルギーの利用促進が喫緊の課題となっており、公共施設での太陽光発電の利用促進や住宅用太陽光発電システム設置に対する助成など、国の「サンシャイン計画」に端を発する当市の新エネルギー

政策を、市民、企業、行政が一体となって推進します。

安全・安心で快適な生活空間を 実感できるまちづくり

◆交通体系の整備

平成22年度から道路網の見直しを行い、平成23年度策定の「道路網の整備計画」に基づき、幹線道路網の整備を促進するとともに、市民生活に密着した生活道路の整備を拡充します。

また、昨年5月にJR伊予西条駅でお披露目されたフリーゲージトレインは、本州一四国の地域間交流に多大な効果が生まれるものであり、引き続き早期導入の実現に向けて、精力的に取り組みます。



▲フリーゲージトレインの早期導入実現に向けて精力的に取り組みます。
(写真：JR予讃線での耐久走行試験の様子)

◆都市基盤の整備

西条市都市計画マスタープランに基づき、JR伊予西条駅周辺、JR壬生川駅周辺、丹原町市街地、小松町市街地など各拠点の整備を引き続き進めます。